

歴史探索

天誅倉



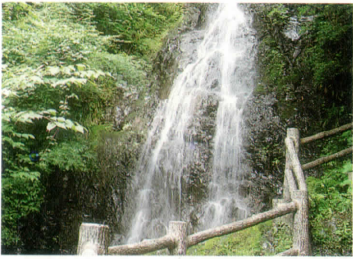
当館より徒歩25分
 尊主倒幕に苦戦した勤王の八士が幽閉された土蔵。倉の柱には血書した辞世の歌が残されており、現在も県指定文化財として保存されています。

温泉寺



当館より徒歩3分
 弘法大師が龍王の夢のお告げによって泉源をみつけ、草庵を結んで薬師如来像を安置。のちに明算という僧が皮膚病をこの湯で治したことで、薬師堂を再建し、温泉寺と名づけたと言われています。

曼陀羅の滝



当館より徒歩20分
 龍神温泉の裏山にかかる滝で、弘法大師が温泉を開場したときに命名したと伝えられています。中里介山の小説「大菩薩峠」の主人公机竜之介が失明寸前にこの滝で洗眼治療し、全治したといわれることで有名になりました。

皆瀬神社



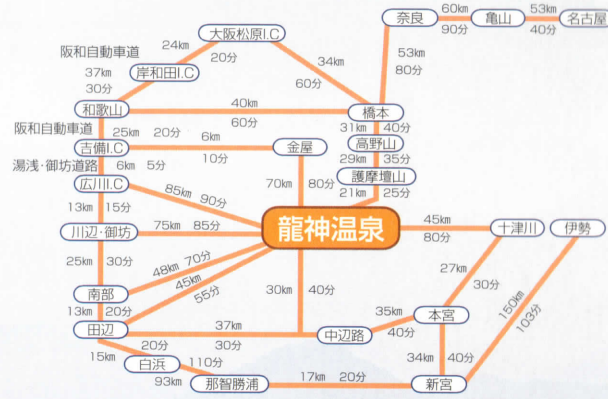
当館より徒歩15分
 この地の豪族龍神正直氏が、約500年前に建立した神社。明治42年に神社合祀令により天児屋根命地16柱が祭られています。地区民神として、毎年11月3日に祭礼が行われます。

高野龍神スカイライン

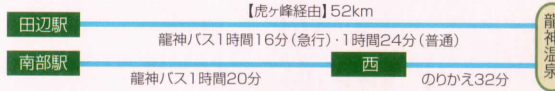
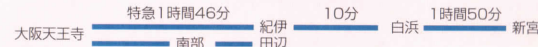


高野山から紀州の屋根護摩壇山(1,372m)を縦走する山岳道路。紀伊半島の峰々を見下ろしながら、四季折々に美しい自然を楽しむことができます。

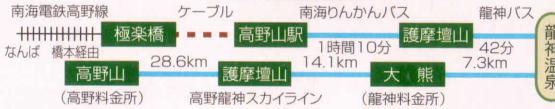
龍神温泉へのご案内



JRきのくに線



高野山方面から



◆高野龍神スカイラインの冬季走行については積雪・凍結などに充分ご注意ください。(冬季は、タイヤチェーン携行規制が出ます。)

高野から

龍神温泉バス時刻表

【龍神温泉～高野山駅の運転日】
 4月1日～11月30日までの毎日

高野山駅 龍神温泉	
9:55発	12:12着
14:05発	16:17着
龍神温泉 高野山駅	
10:23発	12:45着
14:31発	16:50着

龍神温泉



〒645-0525 和歌山県日高郡龍神村龍神42番地
 TEL.0739-79-0005

和の旅情。美の伝統。

龍神温泉

上御殿



「上御殿」本館は平成11年に国の登録有形文化財に指定されました。



■当家に伝わる由緒書き

周田をめぐる山々は、春には新緑が萌え、夏は涼しく、秋の紅葉、冬は樹氷と、都会では味わえない四季折々の風情がたのしめます。その龍神温泉にある当館は、江戸時代初期、明暦3年(1657年)紀州藩主 徳川頼宣公に公の御宿の管理を龍神家に命ぜられ、上御殿の屋号を賜り、今も殿様の御泊まりになられた「御成の間」が残されています。現在の当主は、源三位頼政の五男頼氏より二九代に当たり、八二〇年余りの伝統を誇り、今もなお皆様方の御信頼を賜っております。

優しさとやすらぎ沸き立つ湯の贅。
木の香りとなめらかな泉に、
心ゆだねる。

泉の贅



■貸し切り露天風呂

旬の膳

四季香り美味冴えわたる膳の数々。
旬を迎えた山の幸、川の幸は、
匠の技で味を極める。



※季節により料理内容・
器等変わる場合がございます。



■玄関

新館▶



■紀州藩公が御泊まりになられた「御成の間」



■和風ロビー



■新館の和室

趣の時

伝統が息づく情緒あふれる佇まい。
自然美という優しさに包まれ、
やすらぎの時が流れゆく。

